

環境ボランティア講座

初心者にも活動手ほどき

二酸化炭素(CO₂)削減や海岸清掃など、自然保護やリサイクルに関する活動などを行う「環境ボランティア」。その浸透を目指した「はじめてみよう！環境ボランティア活動」講座が、二〇〇八年十二月七日に鹿児島市のかごしま環境未来館で開かれた。

市環境協働課が主催し、特定非営利活動法人(NPO法人)「四季の会」(塩川英彬理事長)のメンバーを講師に招いた。市内の十一人が参加。いずれも「自然環境のために、何をどう始めればいいのか分からなかった」環境ボランティアの初心者だ。当日の講座は、同館内のミニ炭俵作りと、同市郡山町の県有林での枝打ち。午前十時から午後三時過ぎまでの講座は、明るい声が続けられることが多かった。環境ボランティア「炭は木が吸ったCO₂が封じ込められたもの。また森の空気も体感したことで、森林の重要性を感じてくれたと思う」。塩川理事長は、今回の活動に大きな意味があったと考える。「楽しみつつ、いろいろな観点から環境のことに思いを巡らせてほしい」

楽しみながら自然学ぶ

島市のかごしま環境未来館で開かれた。

初体験の伊山隆生さん(四巴)と市城山町は「森の空気は気持ちいい。わずかな時間だったが、自分でも何かできるという気持ちになった。充実感がある」と話した。

「四季の会」は二〇〇六年発足。鹿児島県森林インストラクター養成研修の修了生ら三十三人が所属、同市周辺の山林で森林整備や森林・林業体験活動などを続ける。「活動の九割は楽しみ、一割が

「興味を持ってもらうためには『ボランティアのたてほしい』」

環境問題が年々クロースアップされる中、多くの企業が社会貢献の一環として実践している環境ボランティア活動するためのヒント。しかし、市民に身近な活動とはいえないか」と話した。



杉の若木の枝打ちをする環境ボランティア活動講座の二鹿児島市郡山町参加者

